

新年明けましておめでとうござります。

昨年末の突然の解散総選挙では大変お世話になりました。皆様のお陰様で、なんとか引き続き衆議院議員として仕事を続けることが出来ます。ありがとうございます。ございました。

全体会議においても、厳しい発言を繰り返して参りました。まだまだ政府の危機感が足りないと感じています。アイディアが足りない、スピードが遅いと思います。

既に自民党も仕事始めを終え、年始から党務が始まっていますが、私のような厳しい選挙区の議員は、地元対応の為に、1月末の通常国会の開会まで東京に行く事が出来ません。歯がゆい気持ちもありますが、選挙が強くなければ東京での仕事も充分に出来ません。

とも、立派な大臣をお務めの先生もいらつしやいますから、これにめげずに国会活動を頑張る所存です。通常国会がおそらく1月26日に始まると思いますので、これまでに以上に激しく国会活動に挑戦していきます。

自民党も殆ど議席を減らすことなく、与党での議席も3分の2以上を維持することが出来、引き続き安定した政権運営を行うことが出来ます。しかしながら野党の様相は大きく変わり、多様な議論が建設的に行われるというよりは、対決色の強い国会運営になることが予想される陣立てとなったため、より国会対策委員会の重要性が増す政治となり、難しい法案が提出しにくい環境となりそうです。

また、小選挙区で勝った議員と比例復活議員では、同じ議員でもやはり半人前というか、存在感や発言力が低下することは否めないと感じました。選挙が弱いとは、いつ居なくなるかわからない議員であり、ついて行くにはリスクが高い議員だと、同僚議員からも官僚からも思われます。仕方のない事ですが、選挙の強さこそリーダーシップであり、政治力の源泉だと実感しています。ただ、選挙が厳しく

地方創生の基本的な考え方は、やる気が有り、本当に実効性ある提案を打ち出す自治体を予算や法改正で懸命に応援するという事です。大分の提案力が問われます。知事や市長の力量を中心に、大分のリーダー達の力量が問われます。その意味においても、今春行われる統一地方選で力量ある知事や市長を選ばなければ、そこに大分の浮沈が掛かってきます。

今春の市長選挙には、佐藤樹一郎さんという経済産業省出身、中小企業庁次長、JETROニューヨーク所長を歴任した地元出身の方が立候補を予定しています。広瀬知事と二枚看板で経済産業省の力を引き込み、大分県政・市政の大発展が期待出来ます。大分の浮沈を掛けたチャンスに、大分県有権者の皆様のご声援を期待しております。

とにかく最重要課題は、地方の景気回復です。昨年未開会した二日間の特別国会期間に行われた、自民党税制調査会や政務調査会

私には、地方の首長は官僚出身者も最適任のひとつと思えます。国の力の使い方に精通し、人脈も豊富で大分のような非力な地方に国の大きな力をもたらし、発展させる可能性が高いからです。実際に大分県はこれまでに、現在の経済産業省出身

の知事が長期に亘って知事を務め、産業振興・雇用創出において、日本でも有数の成果をあげてきています。国会で見えても経済産業省の官僚は、官僚らしくない商売人気質の方々が多く、地方経営者である首長としての資質が高いと感じます。

Facebookでも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉<https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください!お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員 一陽見穴 後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010
<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

